

団体名 YOLO

団体紹介

YOLO（ヨロ）は you only live once 一度きりの人生思い切り楽しもうをテーマに、安芸高田市吉田町の築 88 年の古民家で子どもと大人がつながる居場所づくりとして 2023 年 9 月からフリースクール活動をしています



活動実績

活動 活動日には、子どもたちが考えたプランで活動している。食育活動として、メニュー決め、買い出し、収支計算、調理、片付けまでを日々行う

プロジェクト イベントの考案・主催や参加など大きな活動を行っている
夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会、春休み勉強会を主催した。

映画 「夢みる小学校」上映会、E スポーツ大会、吉田文化祭、
たかみや文化祭、サロン、イースターなどイベントに参加した

メディア 中国新聞、中国新聞デジタル、TSS ライク!、RCC ラジオ、

Yahoo ニュース、FNN プライムオンライン、YouTube 広島ニュース TSS など

連携 教育委員会、小・中学校、地域サロン、人権会館、放課後等デイサービス、
障害者自立支援協議会、NPO 法人安芸高田市国際交流協会など

食育活動 調理



プロジェクト



効果

ゆっくりした時間を安心できる秘密基地のように過ごし環境調整する力になった。プランや昼食を自分で決め、ゆとりを持った時間設定でじっくり活動に取り組むことで、自主的に協働したり自分のペースで 1 日を過ごすことができた。大人は助っ人としているため、自分の取り組みに集中でき成功体験につなげた。協働活動ではコミュニケーションが活発になり、積極的な行動につながった。多様な子どもと大人と一緒に活動するため、役割や感謝される経験をすることで、自己効力感や自己肯定感につなげた。年上が年下の手助けをしながら可愛い、面白い気持ちになったり、お兄ちゃんたちと会いたい気持ちで YOLO に来たり、学校の登校につながっていた。出席扱いになることで社会的に認められる安心感が得られることや進学に向けて前向きな要素が増えた。保護者にとっての効果は、人と関わる場所が増え、子どもが元気になる姿が安心につながった。スタッフと話をすることで情報を知ったり心配事など話せて気持ちが楽になった。親にとっても居場所のような効果があった。地域とへの効果としては、元気に活動する子どもの姿が地域の人の元気につながっていた。活動を通して子どもや大人の居場所ができただけでなく、それぞれ社会経験を学ぶ機会にもなっていた。

工夫したこと

安心できる居場所なので、子ども自身が自分を守る権利や場作りから子どもたちと話しあい、子どもたちが居場所を作れるように大人は子どもの思いを実現するサポート役として関わった。保護者も安心して話せる時間をつくった。イベントなど地域を巻き込んだ活動も行った。フリースクール活動を知ってもらうために、メディア露出を行った。
教育委員会・各学校へフリースクールへの出席が、学校の出席扱いになるよう連携をとった



場づくり

課題や展望

活動を知ってもらったり、地域と活動できるようなプランやプロジェクトを行いたい。
すべての子どもを街ぐるみで育てていけるように、地域を巻き込んだ運営デザインの見直しを行いながら活動していくことで、居場所だけでなく、元気な街づくりに繋げていきたい

